

日本における仏教諸宗派の分布 仏教地域区分図作成の試み

小 田 匡 保

．はじめに

宗教地理学の古くからの研究分野の1つに、宗教分布の研究がある。その系統にあるものとして、近年の日本では信仰圏の検討がさかんであるが、その一方で宗教分布の研究は、最近では人気のないテーマのように思われる。単なる宗教分布の状況を明らかにするだけでは研究の深みがないことが、関心をひかない1つの要因ではあろうが、しかし、もはや研究の余地がないほど日本の宗教分布が解明しつくされ、(少なくとも研究者の間で)常識になっているかと言えば、そうではない。たとえば、日本の代表的アトラスである『日本国勢地図』¹⁾にも、宗教を扱った項目は含まれていない。日本の宗教分布がどうなっているかという初歩的な事柄が、実は意外にきちんと研究されていないのではないかと考えられる²⁾。

筆者は、このような問題意識から、日本におけるキリスト教の分布について以前に検討したことがある³⁾。本稿では、日本における仏教の分布について考察を加えてみたい。仏教分布については、地理学・宗教学の両サイドから、従来ある程度の研究がされてきているが、本稿では、未検討の課題や問題点を提示したうえで、分析を試みることにしたい。

．先行研究の整理

日本全体の仏教分布に関しては、大きく4つの先行研究がある。1つは日本における最初の宗教地理学論文でもある戦前の望月⁴⁾の研究であり、教派神道やキリスト教とならんで、寺院や仏教諸宗派の分布を論じている。2つめに、1960年代に宗教学の側から藤井ほか⁵⁾が、仏教・神社神道・キリスト教・新宗教の分布についてまとめており、3つめとして、同年の藤井論文⁶⁾はこれを別の視点から考察している。4つめに、1990年代に入って地理学者の北村⁷⁾が、仏教諸宗派の分布に関してさまざまな分析を行なっている。これらのうち、藤井ほかの論文に掲載された「主要宗派別分布」の地図は、リライトされて井門の著作⁸⁾にも利用されている⁹⁾。

以下、本章においては、上述した従来の研究を、いくつかの観点から整理しておくことにする。

まず、仏教分布を把握する資料として何を利用しているかを見てみたい。望月論文が使っているのは、文部省の作成した『宗教制度調査資料』¹⁰⁾である。藤井ほか論文と藤井論文は文部

省の『都道府県別宗教法人数』¹¹⁾に、北村論文は文化庁編『宗教年鑑』¹²⁾と『全国寺院大鑑』¹³⁾に拠っている。『全国寺院大鑑』のデータは、各都道府県発行の宗教法人名簿や各宗派発行の名簿を参考に、民間出版社が集計したものである。資料の作成主体から見れば、監督官庁の公開資料を中心に行っていると言える。資料の様式の統一、入手の容易さから考えて至当であろう。

ただし、仏教分布研究に利用できる資料はこれだけではない。戦前の宗教行政が内務省や文部省の管轄であったことから¹⁴⁾、戦前の『内務省統計報告』や『文部省年報』、『日本帝国統計年鑑』には毎年、道府県別・宗派別のデータが載せられている。現在の代表的宗教統計である『宗教年鑑』には、仏教全体の都道府県別データしか掲載されていないことに鑑みれば、宗派別の数値が分かるという意味で、これらの統計は貴重な資料である。これらを使って、明治～戦前期の仏教諸宗派の分布状況を明らかにし、既往の研究成果と比較したり、現在までの歴史的变化を考察したりすることができる。

次に、資料に制約される事柄ではあるが、仏教分布の指標として何を用いているかを見てみたい。一般的に宗教分布の密度を計る指標としては、宗教施設と信者の数が考えられる。望月論文は寺院数を主として利用しているが、一部に信徒数のデータも使われている。ただし、真宗の分布に関して、『宗教制度調査資料』の「檀徒戸数」ではなく「信徒数」データを使っていることには問題がある。これについては、章で後述する。藤井ほか論文と藤井論文は、資料から判断すると、宗教法人数を利用している。北村論文は、仏教全体については宗教団体数を、各宗派については宗教法人数を用いている。寺院・宗教法人・宗教団体（以下、「寺院」とまとめて表記）数に比べて信者数のデータは入手がむずかしく（そもそも信者数の確定自体が容易ではない）、もっぱら寺院数が分布の指標に使われていると言える。しかしながら、望月論文に利用されているように、『宗教制度調査資料』には道府県別・宗派別の信者数に関するデータが含まれており、それらと寺院数との間で、分布の傾向がどのように異なるのかも興味をひかれるテーマである。なお、利用された指標の空間的単位はほとんどが都道府県である。『宗教制度調査資料』には市別・宗派別のデータもあり（郡部のデータはない）、今後の検討が可能である。

3つめに、得られた都道府県別データを利用して、分布に関してどのような分析を行なうかという問題がある。これについては、表1に先行研究の分析内容を整理した。

これをまとめると、仏教全体の分布については、寺院の絶対数、面積・人口に対する寺院数の比率、人口に占める信者の割合などが、都道府県別に検討されている。データの年次が異なれば、多少異なった結果が出てくるかもしれないが、明治初期より以前から仏教が日本全体（北海道・沖縄県を除く）に広く分布している状況からして、変動の激しい地域の経年的変化を追う以外には、あまり研究の面白さがないと思われる。

仏教各宗派の分布については、寺院の絶対数、その仏教全体に占める割合、局地化係数が宗派別・都道府県別に検討され、全宗派のデータを総合することによって、日本の地域分類や諸

表1 仏教分布に関する先行研究の分析内容

	望月 (1930)	藤井ほか (1963)	藤井 (1963)	北村 (1994)	Rubenstein(1996)
仏教全体	寺院数 (地図) 人口に対する寺院数の比率 (地図)	面積に対する寺院数の比率 (表・地図) 人口に対する寺院数の比率 (表・地図) 面積比・人口比による地域の分類		人口に対する寺院数の比率 (グラフ) 人口に占める信者の割合	人口に占める信者の割合 (地図)
各宗派別	真宗寺院数 (地図) 仏教信者総数に占める真宗信者数の割合 (地図) 全宗派数に占める各道府県の宗派数の割合 (地図)	寺院総数に占める主要4宗グループ各寺院数の割合 (表・地図) 主要宗グループによる日本の地域分類 (地図)	寺院総数に占める曹洞宗寺院数の割合 (地図、藤井(1974)には地図なし) 寺院の分布状況による諸宗派の分類	主要8宗派の各寺院数 (地図) 都道府県別の主要宗派 (表) 寺院の分布状況による諸宗派の分類 寺院数の宗派別局地化係数 (表) 寺院数と局地化係数による諸宗派の分類 宗派別寺院数の都道府県別特化指数 (特殊化係数) と多角化係数 (表)	

注：5つの研究相互で類似するものを、同じ行に並べてある。

宗派の分類が行なわれている。また、少数宗派への特化（または多角化）の程度も考察されている。先行研究の行き着くところは、結局のところ、宗派別・都道府県別の分布データによって、日本の地域分類を行なうか、宗派の分類を行なうかである。いずれも地理学的には意味のあることと考えるが、特に前者は宗教地理学の本来的課題であろう。先行研究の中では北村もこの問題に少し言及しているが、藤井ほかの作成した地域分類図は意義あるものであり、他の

研究者に利用されていることはその一証左である。ただし、地図の作成手順には問題があり、これについては次章で詳述する。

一見自明とも思われるが、注意を払っておく必要があるのが、分析カテゴリーとしての宗派の分類である。現在の文化庁の集計では、いわゆる宗派（教団）の多くは「包括宗教法人」として表される（他に、それ自体は宗教法人になっていない包括宗教団体や、単立宗教法人がある）。仏教系の包括宗教法人の数は150以上あり、それが統計資料の単位になっている。藤井は、資料中の包括宗教法人をそのまま分析単位にしているが、北村は、分析単位の寺院数が1000前後になるように、全宗派を大きく8つに区分し¹⁵⁾、それをさらに21に細分している。逆に言えば、150以上の包括宗教法人は21の宗派グループにまとめられている。藤井ほか論文では、天台・真言系、浄土系、禅系、日蓮系の4つのカテゴリーにくくっている。日本全体の仏教宗派分布を1つの地図にまとめるうえでは、あまり細分するよりも、藤井ほか論文のように少数のグループに分けることが、それなりに適切であると思われる。

． 仏教地域区分図の作成

以上の検討を受けて、本章では特に藤井ほか論文を念頭におき、その分類図の修正と、それとの比較の意味で、明治期・戦前期の仏教宗派による地域分類図、地域区分図の作成を行なう。

1. 藤井ほか論文の再検討 戦後の仏教地域分類図作成

藤井ほか論文は、仏教宗派による日本の地域分類図を作成した点で評価できることは前述したが、その手続きには問題がある。まず第1に、データ集計の不正確さが挙げられる。藤井らは、昭和34年（1959）の『都道府県別宗教法人数』の宗派別データを4つの「宗グループ」¹⁶⁾にまとめて寺院数を計算しているが、その表（藤井ほか論文の表1）には多くの誤りが散見される。そこで筆者は、藤井らの算出方法にのっとって再度同じ計算を行ない、表2を作成した。その結果、『都道府県別宗教法人数』に数値がなくて検証できない石川県と、もともとデータのない沖縄県を除いて、45都道府県の180箇所の法人数データのうち、約19%の34の数字が間違いであることが判明した。その内訳は、天台・真言系7、浄土系19、禅系7、日蓮系1である。そのため、法人数の割合も誤っている（法人数のみが誤植で、割合は正確である場合もある）。割合も再度計算し直したところ、宗グループの順序が変動するケースはなかったが、各宗グループ分布の階級区分図（藤井ほか論文の図3～図6）や第2位以下の宗グループの地図表示（藤井ほか論文の図7）に影響を及ぼす可能性が出てきた。

第2の問題は、地図への表現方法である。藤井らは原則として、各都道府県でもっとも多い宗グループを地図にマークしているが、いくつかの都県では、第2位、第3位の宗グループも図示している。しかし、どのような場合に第2位以下も図示するのか、その基準が明確でない

表2 都道府県別・宗グループ別寺院数（昭和34年） 藤井ほか論文の算出方法による

都道府県	天台・ 真言系	%	浄土系	%	禅系	%	日蓮系	%	小計	%	その他	合計	不明	総合計
北海道	285	13.7	1,111	53.3	446	21.4	243	11.7	2,085	100.0	40	2,125	27	2,152
青森	33	8.0	155	37.3	176	42.4	51	12.3	415	100.0	10	425	3	428
岩手	109	18.2	114	19.1	344	57.5	31	5.2	598	100.0	17	615	3	618
宮城	147	16.9	117	13.5	558	64.2	47	5.4	869	100.0	22	891	23	914
秋田	38	5.7	202	30.5	364	54.9	59	8.9	663	100.0	7	670	5	675
山形	298	21.1	314	22.2	750	53.0	52	3.7	1,414	100.0	23	1,437	46	1,483
福島	582	40.2	268	18.5	550	38.0	46	3.2	1,446	100.0	43	1,489	21	1,510
茨城	618	52.8	255	21.8	236	20.2	62	5.3	1,171	100.0	45	1,216	31	1,247
栃木	466	51.0	160	17.5	238	26.0	50	5.5	914	100.0	41	955	16	971
群馬	556	50.5	116	10.5	396	36.0	32	2.9	1,100	100.0	52	1,152	27	1,179
埼玉	1,135	55.9	179	8.8	635	31.3	82	4.0	2,031	100.0	56	2,087	55	2,142
千葉	1,446	55.6	165	6.3	385	14.8	604	23.2	2,600	100.0	22	2,622	230	2,852
東京	673	28.0	642	26.8	584	24.3	501	20.9	2,400	100.0	119	2,519	221	2,740
神奈川	442	25.4	404	23.2	583	33.5	310	17.8	1,739	100.0	80	1,819	61	1,880
新潟	472	16.9	1,336	47.9	797	28.5	187	6.7	2,792	100.0	83	2,875	67	2,942
富山	91	5.4	1,301	76.6	254	14.9	53	3.1	1,699	100.0	6	1,705	8	1,713
石川	91	6.9	997	75.6	136	10.3	95	7.2	1,319	100.0	?	?	?	1,418
福井	166	9.7	1,019	59.8	378	22.2	142	8.3	1,705	100.0	20	1,725	31	1,756
山梨	93	6.4	166	11.4	790	54.4	403	27.8	1,452	100.0	7	1,459	5	1,464
長野	323	21.0	447	29.1	705	45.9	61	4.0	1,536	100.0	15	1,551	15	1,566
岐阜	161	6.9	1,260	53.7	852	36.3	72	3.1	2,345	100.0	22	2,367	7	2,374
静岡	129	4.9	274	10.4	1,814	68.9	416	15.8	2,633	100.0	36	2,669	24	2,693
愛知	432	9.4	2,302	50.1	1,650	35.9	213	4.6	4,597	100.0	106	4,703	99	4,802
三重	454	19.9	1,140	50.1	634	27.9	48	2.1	2,276	100.0	25	2,301	40	2,341
滋賀	487	16.2	2,068	69.0	401	13.4	41	1.4	2,997	100.0	9	3,006	80	3,086
京都	353	12.6	1,309	46.7	894	31.9	247	8.8	2,803	100.0	147	2,950	87	3,037
大阪	378	13.4	1,974	70.2	252	9.0	207	7.4	2,811	100.0	366	3,177	141	3,318
兵庫	758	24.5	1,377	44.5	750	24.2	210	6.8	3,095	100.0	190	3,285	84	3,369
奈良	312	22.2	946	67.3	107	7.6	41	2.9	1,406	100.0	360	1,766	12	1,778
和歌山	508	34.5	665	45.1	256	17.4	45	3.1	1,474	100.0	79	1,553	23	1,576
鳥取	101	22.0	91	19.8	225	48.9	43	9.3	460	100.0	12	472	7	479
島根	167	12.4	623	46.4	486	36.2	67	5.0	1,343	100.0	18	1,361	11	1,372
岡山	635	51.5	141	11.4	266	21.6	191	15.5	1,233	100.0	109	1,342	58	1,400
広島	149	10.0	960	64.4	302	20.3	80	5.4	1,491	100.0	109	1,600	114	1,714
山口	149	10.8	829	60.0	360	26.1	43	3.1	1,381	100.0	51	1,432	7	1,439
徳島	334	68.4	88	18.0	47	9.6	19	3.9	488	100.0	93	581	10	591
香川	311	37.6	449	54.2	27	3.3	41	5.0	828	100.0	40	868	31	899
愛媛	360	36.3	162	16.3	428	43.2	41	4.1	991	100.0	55	1,046	35	1,081
高知	115	39.1	106	36.1	49	16.7	24	8.2	294	100.0	41	335	24	359
福岡	301	14.6	1,302	63.1	329	16.0	130	6.3	2,062	100.0	239	2,301	106	2,407
佐賀	122	12.2	385	38.5	416	41.6	78	7.8	1,001	100.0	60	1,061	1	1,062
長崎	102	15.7	250	38.4	216	33.2	83	12.7	651	100.0	33	684	10	694
熊本	86	8.0	722	67.5	152	14.2	110	10.3	1,070	100.0	64	1,134	69	1,203
大分	154	12.9	594	49.7	400	33.5	46	3.9	1,194	100.0	22	1,216	10	1,226
宮崎	57	19.8	135	46.9	73	25.3	23	8.0	288	100.0	8	296	29	325
鹿児島	13	3.6	287	78.4	43	11.7	23	6.3	366	100.0	23	389	32	421
沖縄	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
全国	15,192	21.2	29,907	41.8	20,734	29.0	5,693	8.0	71,526	100.0	3,025	73,232	2,046	76,696

資料：『都道府県別宗教法人数』。同資料に記載のない石川県の内訳に関しては、藤井ほか論文による。

注1：「その他」は、藤井ほか論文が計算から除いている110教団の合計であり、真言律宗は天台・真言系に含まれる。

注2：「不明」は、宗派別数値の記されていない都道府県所轄包括宗教法人、その傘下の被包括宗教法人、非宗教法人包括宗教団体傘下の被包括宗教法人、単立宗教法人の合計である。

注3：「その他」、「合計」、「不明」3列の全国合計は石川を除く。

のは問題である。たとえば、神奈川県では第1位から10.2%（数字は藤井ほか論文の表による）低い第3位の宗グループまで示されているが、それより差の小さい青森県の第2位（較差5.0%）、愛媛県の第2位（較差2.9%）、佐賀県の第2位（較差3.0%）は図示されていない。仮に、第1位との差が10%以内の宗グループを第2位以下も地図に表現するとすれば、筆者の計算し直した上述の数値に基づくと、青森・福島・東京・神奈川・愛媛・高知・佐賀・長崎の各都県がその対象になる（東京都は第3位まで、それ以外は第2位まで）。

また、そもそも第2位以下のデータを表示しなければならないのかも検討してみる必要がある。確かに、第1位と近い第2位の宗グループを図示することによって、異なる有力宗グループの接触する地域で、両者の割合が拮抗している状況はよく分かる（たとえば福島県）。しかし、仏教宗派による日本全体の地域分類図、地域区分図を作成するという本稿の趣旨からすれば、第2位以下は捨象して、図を簡潔にするほうが好ましいとも考えられる。したがって、各都道府県で第1位の宗グループのみを図示するという方法を本稿では採用したい。

なお、藤井ほか論文の図では、群馬県は浄土系と禅系の2つが図示されているが、これは天台・真言系と禅系の誤りである（表の数字と合致しないことから、作図の際のミスと考えられる）。この図をリライトした井門論文の地図では、群馬県の誤りが訂正されている。

第3の問題は、天台・真言系などといった宗グループの定義である。藤井らは、天台・真言系として13、浄土系24、禅系16、日蓮系7、合計60の教団（文部科学大臣所轄包括宗教法人）をピックアップし、これらの傘下にある被包括宗教法人の数を都道府県別・宗グループ別に集計して割合を求めている。仏教全体の寺院密度（面積比・人口比）についても、これら60教団の合計値に基づいて算出している。

しかし、『都道府県別宗教法人数』には、仏教系として全部で170の教団が挙げられており、残りの110の教団は計算から除かれている。藤井らは、昭和14年（1939）の宗教団体法以前に公認されていた13宗56派をおおむね踏襲する形で60の教団を選定しているようである¹⁷⁾。

問題は、第二次世界大戦後に分立・設立した教団をどう扱うかである。立正佼成会や霊友会、真如苑のようないわゆる新宗教が仏教系教団に含まれていることに鑑みれば、伝統的仏教教団に限定した藤井らの方法も納得はできる。しかし、大きく考えれば、これらの新宗教も仏教の影響を受けている点では仏教系の教団と言える。また、藤井らの選定した60教団が、伝統的寺院をすべてカバーしきれているとも思われない。

したがって、本稿では、藤井らの集計方法とならんで、『都道府県別宗教法人数』に挙がっているすべての仏教系教団を、天台・真言系など上述の4グループと「その他」（奈良仏教系とその他）にまとめて、都道府県別の宗教法人数を算出した。グループ分けについては、文化庁編『宗教年鑑』で採用している系統分類を利用した（藤井らの分類とは、藤井らが天台・真言系とする真言律宗を奈良仏教系に含めている点が異なる）。現在存在しない教団は、教団名で判断した。集計にあたっては、奈良仏教系などその他の教団も分母に含めて割合を計算した

表3 都道府県別・宗グループ別寺院数（昭和34年） 筆者の算出方法による

都道府県	天台・真言系	%	浄土系	%	禅系	%	日蓮系	%	その他	%	合計	%	不明	総合計
北海道	298	14.0	1,114	52.4	450	21.2	263	12.4	0	0.0	2,125	100.0	27	2,152
青森	37	8.7	155	36.5	176	41.4	57	13.4	0	0.0	425	100.0	3	428
岩手	124	20.2	114	18.5	344	55.9	33	5.4	0	0.0	615	100.0	3	618
宮城	153	17.2	118	13.2	561	63.0	59	6.6	0	0.0	891	100.0	23	914
秋田	41	6.1	202	30.1	364	54.3	63	9.4	0	0.0	670	100.0	5	675
山形	314	21.9	314	21.9	750	52.2	59	4.1	0	0.0	1,437	100.0	46	1,483
福島	598	40.2	268	18.0	550	36.9	67	4.5	6	0.4	1,489	100.0	21	1,510
茨城	648	53.3	255	21.0	239	19.7	74	6.1	0	0.0	1,216	100.0	31	1,247
栃木	497	52.0	160	16.8	238	24.9	60	6.3	0	0.0	955	100.0	16	971
群馬	600	52.1	116	10.1	396	34.4	40	3.5	0	0.0	1,152	100.0	27	1,179
埼玉	1,173	56.2	179	8.6	641	30.7	94	4.5	0	0.0	2,087	100.0	55	2,142
千葉	1,466	55.9	165	6.3	386	14.7	605	23.1	0	0.0	2,622	100.0	230	2,852
東京	747	29.7	642	25.5	587	23.3	542	21.5	1	0.0	2,519	100.0	221	2,740
神奈川	482	26.5	405	22.3	588	32.3	340	18.7	4	0.2	1,819	100.0	61	1,880
新潟	513	17.8	1,373	47.8	797	27.7	190	6.6	2	0.1	2,875	100.0	67	2,942
富山	95	5.6	1,301	76.3	254	14.9	55	3.2	0	0.0	1,705	100.0	8	1,713
石川	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	1,418
福井	172	10.0	1,022	59.2	380	22.0	151	8.8	0	0.0	1,725	100.0	31	1,756
山梨	95	6.5	166	11.4	791	54.2	407	27.9	0	0.0	1,459	100.0	5	1,464
長野	329	21.2	447	28.8	707	45.6	68	4.4	0	0.0	1,551	100.0	15	1,566
岐阜	162	6.8	1,260	53.2	852	36.0	89	3.8	4	0.2	2,367	100.0	7	2,374
静岡	132	4.9	274	10.3	1,822	68.3	439	16.4	2	0.1	2,669	100.0	24	2,693
愛知	475	10.1	2,302	48.9	1,681	35.7	242	5.1	3	0.1	4,703	100.0	99	4,802
三重	455	19.8	1,141	49.6	642	27.9	53	2.3	10	0.4	2,301	100.0	40	2,341
滋賀	490	16.3	2,068	68.8	401	13.3	46	1.5	1	0.0	3,006	100.0	80	3,086
京都	411	13.9	1,315	44.6	897	30.4	304	10.3	23	0.8	2,950	100.0	87	3,037
大阪	484	15.2	2,119	66.7	253	8.0	301	9.5	20	0.6	3,177	100.0	141	3,318
兵庫	889	27.1	1,378	41.9	752	22.9	257	7.8	9	0.3	3,285	100.0	84	3,369
奈良	318	18.0	1,153	65.3	107	6.1	58	3.3	130	7.4	1,766	100.0	12	1,778
和歌山	580	37.3	665	42.8	256	16.5	49	3.2	3	0.2	1,553	100.0	23	1,576
鳥取	108	22.9	92	19.5	225	47.7	47	10.0	0	0.0	472	100.0	7	479
島根	173	12.7	623	45.8	487	35.8	78	5.7	0	0.0	1,361	100.0	11	1,372
岡山	724	53.9	141	10.5	267	19.9	198	14.8	12	0.9	1,342	100.0	58	1,400
広島	238	14.9	961	60.1	303	18.9	92	5.8	6	0.4	1,600	100.0	114	1,714
山口	186	13.0	830	58.0	362	25.3	51	3.6	3	0.2	1,432	100.0	7	1,439
徳島	421	72.5	88	15.1	48	8.3	22	3.8	2	0.3	581	100.0	10	591
香川	345	39.7	449	51.7	27	3.1	45	5.2	2	0.2	868	100.0	31	899
愛媛	402	38.4	162	15.5	429	41.0	50	4.8	3	0.3	1,046	100.0	35	1,081
高知	150	44.8	106	31.6	49	14.6	26	7.8	4	1.2	335	100.0	24	359
福岡	510	22.2	1,306	56.8	332	14.4	147	6.4	6	0.3	2,301	100.0	106	2,407
佐賀	175	16.5	385	36.3	416	39.2	81	7.6	4	0.4	1,061	100.0	1	1,062
長崎	127	18.6	250	36.5	216	31.6	90	13.2	1	0.1	684	100.0	10	694
熊本	130	11.5	724	63.8	152	13.4	126	11.1	2	0.2	1,134	100.0	69	1,203
大分	166	13.7	594	48.8	400	32.9	56	4.6	0	0.0	1,216	100.0	10	1,226
宮崎	59	19.9	135	45.6	73	24.7	29	9.8	0	0.0	296	100.0	29	325
鹿児島	26	6.7	287	73.8	46	11.8	30	7.7	0	0.0	389	100.0	32	421
沖縄	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
全国	16,718	22.8	29,324	40.0	20,694	28.3	6,233	8.5	263	0.4	73,232	100.0	2,046	76,696

資料：『都道府県別宗教法人数』

注1：「その他」は、奈良仏教系（真言律宗・律宗・法相宗・華嚴宗・聖徳宗・不動宗）と福田海の合計である。

注2：「不明」は、宗派別数値の記されていない都道府県所轄包括宗教法人、その傘下の被包括宗教法人、非宗教法人包括宗教団体傘下の被包括宗教法人、単立宗教法人の合計である。

注3：「総合計」の全国合計は石川を含む。

注4：表の総合計76,696に、文部大臣所轄包括宗教法人数167を加えた76,863が、沖縄を除く当時の仏教系宗教法人数の総合計になる。

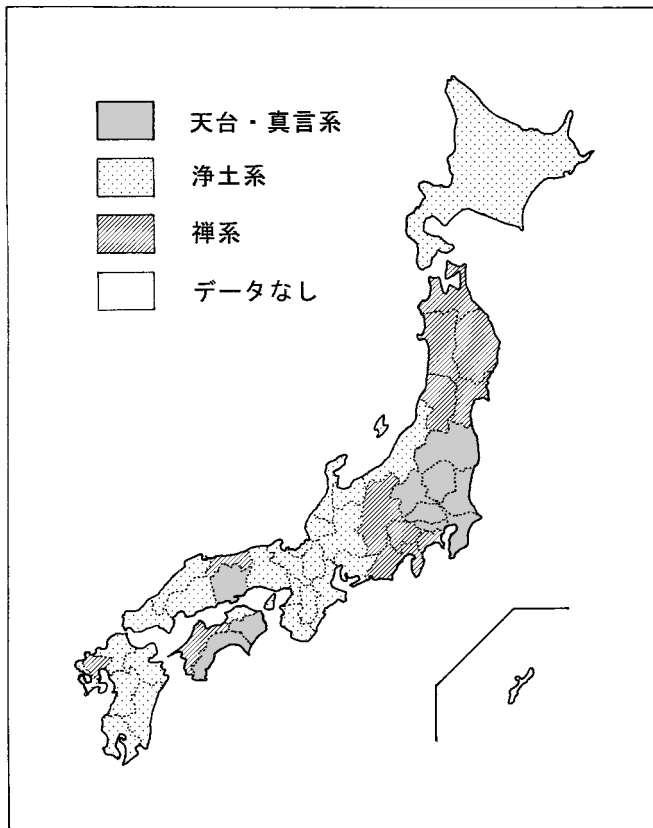


図1 寺院数による仏教地域分類図(昭和34年)
資料:表3。データの無い石川県は表2による。

(これも藤井らの方式と異なる)。

その結果は表3のとおりである。全国合計で見ると、最も多いのは浄土系の4割、次いで禅系が3割弱、天台・真言系が2割強、日蓮系が1割弱であり、この構成比は藤井らの算出方法によるもの(表2)とあまり変わらない。また、第1位の宗グループが表2と異なる都道府県は出てこなかった。110の仏教系教団のデータを加味したと言っても、そのほとんどは小さな教団であり、宗教法人数が約3000(伝統的60教団分の5%足らず)のデータを加えたにすぎないからである。

なお、立正佼成会や霊友会、真如苑などの大きな新宗教は、信者数に比べて宗教法人数が少ない。『都道府県別宗教法人数』では、立正佼成会2、霊友会3、

真如苑14という少なさである(ただし、法人になっていない宗教団体は多い)。このことは、新宗教の法人数が仏教系宗教法人の分布にあまり影響を与えないことを示すとともに、宗教法人数を指標として宗教分布を見ることの限界をも提示している。

以上の検討に基づき、表3のデータから、各都道府県で第1位の宗グループのみを地図に表したのが図1である(石川県は表2のデータを利用)。浄土系が北海道、北陸・東海・近畿地方、西中国・九州地方で優勢であること、禅系は東北・中部地方に多いこと、天台・真言系は関東・南四国地方に勢力を拡げていることが読み取れる。

2. 戦前の仏教地域統計

戦前の仏教分布について検討する前に、『宗教制度調査資料』以外の仏教地域統計資料に触れておきたい。明治期の仏教地域統計は、内務省が宗教行政を所管していた¹⁸⁾ことから、『内務省年報』と『内務省統計書』¹⁹⁾に、明治10年代の旧国別集計が見られる。それに続く『内務

省統計報告²⁰⁾は、第1回統計報告には地域別の集計がなく、明治21年(1888)刊行(データは明治19年)の第2回と翌年を対象とする第3回に旧国単位の統計が含まれる。道府県別になるのは、明治22年(1889)刊行(データは明治21年)の第4回統計報告以降である。

一方、『日本帝国統計年鑑²¹⁾』にも、内務省の資料に基づいて仏教地域統計が掲載されている。明治15年(1882)刊行(データは明治13年)の第1回統計年鑑から旧国別統計が含まれており、道府県別データに切り替わるのは、『内務省統計報告』と同じく、明治23年(1890)刊行(データは明治21年)の第9回からである。

大正2年(1913)、神社以外の宗教行政が文部省の管轄になることに伴って、『内務省統計報告』の仏教統計はなくなり、かわって『文部省年報²²⁾』に仏教統計が載せられる。正確には、『内務省統計報告』への掲載は大正3年(1914)刊行(データは明治45年/大正元年)の第28回までであり、『文部省年報』への掲載は大正4年(1915)刊行(データは大正2年)の第41から始まる。『文部省年報』の仏教統計は、戦前刊行の第67(データは昭和14年)まで継続するが、戦後編集された昭和15年度以降の戦前分の年報には、宗教統計が見られない。

『日本帝国統計年鑑』の仏教地域統計は、仏教行政の文部省移管後も、『文部省年報』に基づいて掲載されている。その最後は、昭和16年(1941)刊行の第59回(データは昭和12年)『大日本帝国統計年鑑』である。

以上のことをまとめると、戦前の道府県別仏教統計は、明治21年(1888)～昭和14年(1939)の各年次のデータが判明する。明治10年代～明治20年(1887)に関しては、旧国別の集計である。

次に、統計項目について見てみると、地域別統計があるのは、寺院数・境外仏堂数・男女別住職数である。仏教分布を考察するうえでは、寺院数データが最も有用であることは言をまたないであろう。これらの数が、『日本帝国統計年鑑』や初期の『内務省統計報告』では宗別(天台宗・真言宗など)に、第15回(データは明治33年)以降の『内務省統計報告』や『文部省年報』では宗派別(真宗本願寺派・真宗大谷派など)に集計されている。後者では宗別の小計をしていないため、宗別の概要を把握するには『日本帝国統計年鑑』が便利である。

3. 明治期・戦前期の仏教地域分類図作成

本節では、前節で紹介した資料のうち、最も古い道府県別データである明治21年(1888)の数値と、『日本帝国統計年鑑』の最も新しいデータである昭和12年(1937)の数値を分析し、さらに1節で『都道府県別宗教法人数』を利用して検討した昭和34年(1959)の分布状況と比較してみたい。

データの集計方法は、上述の『都道府県別宗教法人数』の場合とほぼ同様である。すなわち、『日本帝国統計年鑑』に掲載された道府県別・宗別寺院数を、天台・真言系などの4グループと「その他」(法相宗と華嚴宗)および「2つ以上の宗派に所属」の計6つのカテゴリーにま

表4 道府県別・宗グループ別寺院数 (明治21年)

道府県	天台・真言系	%	浄土系	%	禅系	%	日蓮系	%	その他	%	合計	%
北海道	8	4.2	103	54.2	51	26.8	28	14.7	0	0.0	190	100.0
青森	24	8.1	126	42.6	116	39.2	30	10.1	0	0.0	296	100.0
岩手	110	19.0	116	20.0	346	59.8	7	1.2	0	0.0	579	100.0
宮城	231	22.7	136	13.4	625	61.5	25	2.5	0	0.0	1,017	100.0
秋田	49	7.6	223	34.6	338	52.4	35	5.4	0	0.0	645	100.0
山形	460	28.6	345	21.5	770	47.9	32	2.0	0	0.0	1,607	100.0
福島	681	42.7	304	19.1	578	36.2	32	2.0	0	0.0	1,595	100.0
茨城	806	58.1	306	22.1	245	17.7	30	2.2	0	0.0	1,387	100.0
栃木	602	58.0	157	15.1	253	24.4	26	2.5	0	0.0	1,038	100.0
群馬	754	58.1	113	8.7	411	31.7	20	1.5	0	0.0	1,298	100.0
埼玉	1,343	57.7	210	9.0	706	30.3	70	3.0	0	0.0	2,329	100.0
千葉	1,865	54.0	220	6.4	466	13.5	902	26.1	0	0.0	3,453	100.0
東京	573	27.3	795	37.9	346	16.5	385	18.3	0	0.0	2,099	100.0
神奈川	707	29.8	454	19.2	943	39.8	266	11.2	0	0.0	2,370	100.0
新潟	638	22.0	1,388	47.9	703	24.3	167	5.8	0	0.0	2,896	100.0
富山	77	5.2	1,236	83.0	124	8.3	53	3.6	0	0.0	1,490	100.0
石川	94	7.5	926	74.1	133	10.6	97	7.8	0	0.0	1,250	100.0
福井	172	10.3	982	58.9	360	21.6	152	9.1	0	0.0	1,666	100.0
山梨	161	9.1	219	12.4	928	52.5	460	26.0	0	0.0	1,768	100.0
長野	345	22.8	485	32.1	644	42.6	38	2.5	0	0.0	1,512	100.0
岐阜	119	5.5	1,174	54.4	823	38.1	44	2.0	0	0.0	2,160	100.0
静岡	125	4.1	328	10.9	2,144	70.9	425	14.1	0	0.0	3,022	100.0
愛知	349	10.0	1,643	47.2	1,362	39.1	130	3.7	0	0.0	3,484	100.0
三重	465	20.2	1,153	50.2	654	28.4	27	1.2	0	0.0	2,299	100.0
滋賀	628	19.2	2,185	66.7	427	13.0	37	1.1	0	0.0	3,277	100.0
京都	480	14.2	1,487	44.0	1,055	31.2	342	10.1	15	0.4	3,379	100.0
大阪	367	12.8	2,041	71.3	266	9.3	190	6.6	0	0.0	2,864	100.0
兵庫	853	28.4	1,226	40.8	771	25.7	154	5.1	0	0.0	3,004	100.0
奈良	454	24.8	1,186	64.8	115	6.3	22	1.2	54	2.9	1,831	100.0
和歌山	1,040	49.4	726	34.5	306	14.5	33	1.6	0	0.0	2,105	100.0
鳥取	85	20.0	85	20.0	222	52.4	32	7.5	0	0.0	424	100.0
島根	163	12.0	635	46.9	486	35.9	70	5.2	0	0.0	1,354	100.0
岡山	918	58.8	150	9.6	302	19.4	190	12.2	0	0.0	1,560	100.0
広島	190	13.6	820	58.6	307	21.9	82	5.9	0	0.0	1,399	100.0
山口	91	7.2	804	63.2	353	27.8	24	1.9	0	0.0	1,272	100.0
徳島	414	70.8	102	17.4	52	8.9	17	2.9	0	0.0	585	100.0
香川	283	47.1	260	43.3	24	4.0	34	5.7	0	0.0	601	100.0
愛媛	458	41.4	178	16.1	439	39.7	30	2.7	0	0.0	1,105	100.0
高知	69	35.4	80	41.0	24	12.3	22	11.3	0	0.0	195	100.0
福岡	103	6.5	1,126	70.8	310	19.5	51	3.2	0	0.0	1,590	100.0
佐賀	114	11.3	370	36.5	463	45.7	66	6.5	0	0.0	1,013	100.0
長崎	43	10.9	164	41.5	163	41.3	25	6.3	0	0.0	395	100.0
熊本	54	5.1	769	73.2	169	16.1	59	5.6	0	0.0	1,051	100.0
大分	166	12.8	656	50.7	445	34.4	28	2.2	0	0.0	1,295	100.0
宮崎	17	9.8	77	44.5	68	39.3	11	6.4	0	0.0	173	100.0
鹿児島	2	5.4	28	75.7	6	16.2	1	2.7	0	0.0	37	100.0
沖縄	8	57.1	0	0.0	6	42.9	0	0.0	0	0.0	14	100.0
全国	17,758	24.7	28,297	39.3	20,848	29.0	5,001	6.9	69	0.1	71,973	100.0

資料：『日本帝国第9統計年鑑』

注：「天台・真言系」は天台宗と真言宗、「浄土系」は浄土宗・真宗・時宗・融通念仏宗、「禅系」は臨済宗・曹洞宗・黄檗宗、「日蓮系」は日蓮宗、「その他」は法相宗と華嚴宗である。

表5 道府県別・宗グループ別寺院数(昭和12年)

道府県	天台・ 真言系	%	浄土系	%	禅系	%	日蓮系	%	その他	%	2宗派以上 に所属	%	合計	%
北海道	83	7.5	680	61.4	254	22.9	91	8.2	0	0.0	0	0.0	1,108	100.0
青森	24	7.5	134	41.6	132	41.0	32	9.9	0	0.0	0	0.0	322	100.0
岩手	108	18.6	116	20.0	343	59.0	14	2.4	0	0.0	0	0.0	581	100.0
宮城	177	19.5	122	13.5	580	63.9	28	3.1	0	0.0	0	0.0	907	100.0
秋田	46	7.0	216	33.0	353	54.0	39	6.0	0	0.0	0	0.0	654	100.0
山形	398	26.1	330	21.7	757	49.7	39	2.6	0	0.0	0	0.0	1,524	100.0
福島	657	41.7	306	19.4	571	36.3	41	2.6	0	0.0	0	0.0	1,575	100.0
茨城	758	56.8	295	22.1	242	18.1	40	3.0	0	0.0	0	0.0	1,335	100.0
栃木	511	53.0	161	16.7	251	26.0	41	4.3	0	0.0	0	0.0	964	100.0
群馬	669	55.2	114	9.4	408	33.6	22	1.8	0	0.0	0	0.0	1,213	100.0
埼玉	1,249	56.7	199	9.0	689	31.3	67	3.0	0	0.0	0	0.0	2,204	100.0
千葉	1,653	52.4	219	6.9	433	13.7	852	27.0	0	0.0	0	0.0	3,157	100.0
東京	744	29.7	782	31.2	606	24.2	374	14.9	0	0.0	0	0.0	2,506	100.0
神奈川	475	27.5	416	24.1	590	34.2	244	14.1	0	0.0	0	0.0	1,725	100.0
新潟	616	20.8	1,425	48.1	746	25.2	174	5.9	0	0.0	0	0.0	2,961	100.0
富山	75	5.0	1,225	82.2	139	9.3	51	3.4	0	0.0	0	0.0	1,490	100.0
石川	88	7.1	935	75.2	128	10.3	93	7.5	0	0.0	0	0.0	1,244	100.0
福井	172	10.4	991	59.7	352	21.2	145	8.7	0	0.0	0	0.0	1,660	100.0
山梨	138	8.4	195	11.8	885	53.6	434	26.3	0	0.0	0	0.0	1,652	100.0
長野	341	22.5	469	31.0	662	43.7	41	2.7	0	0.0	1	0.1	1,514	100.0
岐阜	121	5.5	1,183	53.9	841	38.3	49	2.2	0	0.0	1	0.0	2,195	100.0
静岡	123	4.4	307	10.9	1,979	70.4	403	14.3	0	0.0	0	0.0	2,812	100.0
愛知	363	9.8	1,773	47.9	1,426	38.5	137	3.7	0	0.0	1	0.0	3,700	100.0
三重	454	20.0	1,143	50.5	639	28.2	29	1.3	0	0.0	0	0.0	2,265	100.0
滋賀	564	17.8	2,153	67.8	417	13.1	38	1.2	0	0.0	2	0.1	3,174	100.0
京都	431	14.1	1,348	44.2	970	31.8	288	9.4	10	0.3	1	0.0	3,048	100.0
大阪	339	12.2	1,982	71.1	257	9.2	186	6.7	1	0.0	22	0.8	2,787	100.0
兵庫	847	27.4	1,285	41.6	796	25.8	160	5.2	1	0.0	0	0.0	3,089	100.0
奈良	404	22.5	1,168	65.1	112	6.2	24	1.3	65	3.6	20	1.1	1,793	100.0
和歌山	666	39.6	700	41.6	283	16.8	32	1.9	0	0.0	1	0.1	1,682	100.0
鳥取	76	18.1	85	20.2	221	52.5	39	9.3	0	0.0	0	0.0	421	100.0
島根	142	10.7	625	46.9	488	36.6	77	5.8	0	0.0	0	0.0	1,332	100.0
岡山	865	58.2	143	9.6	291	19.6	188	12.6	0	0.0	0	0.0	1,487	100.0
広島	190	13.3	840	59.0	309	21.7	85	6.0	0	0.0	0	0.0	1,424	100.0
山口	87	6.8	801	63.0	355	27.9	29	2.3	0	0.0	0	0.0	1,272	100.0
徳島	422	71.4	102	17.3	49	8.3	18	3.0	0	0.0	0	0.0	591	100.0
香川	291	46.6	188	30.1	112	17.9	33	5.3	0	0.0	0	0.0	624	100.0
愛媛	440	40.4	172	15.8	443	40.7	33	3.0	0	0.0	0	0.0	1,088	100.0
高知	88	34.5	97	38.0	49	19.2	21	8.2	0	0.0	0	0.0	255	100.0
福岡	125	7.5	1,145	69.1	320	19.3	66	4.0	0	0.0	0	0.0	1,656	100.0
佐賀	106	10.6	373	37.3	453	45.3	68	6.8	0	0.0	1	0.1	1,001	100.0
長崎	51	10.6	201	41.8	182	37.8	47	9.8	0	0.0	0	0.0	481	100.0
熊本	51	4.8	766	72.7	169	16.0	67	6.4	0	0.0	0	0.0	1,053	100.0
大分	160	12.6	642	50.6	435	34.3	31	2.4	0	0.0	0	0.0	1,268	100.0
宮崎	27	12.2	103	46.6	75	33.9	16	7.2	0	0.0	0	0.0	221	100.0
鹿児島	4	2.0	174	88.8	14	7.1	4	2.0	0	0.0	0	0.0	196	100.0
沖縄	8	26.7	4	13.3	17	56.7	1	3.3	0	0.0	0	0.0	30	100.0
全国	16,427	23.1	28,833	40.5	20,823	29.2	5,031	7.1	77	0.1	50	0.1	71,241	100.0

資料：『第59回大日本帝国統計年鑑』

注：「天台・真言系」は天台宗と真言宗（真言律宗・律宗を含む）、「浄土系」は浄土宗・真宗・時宗・融通念仏宗、「禅系」は臨済宗・曹洞宗・黄檗宗、「日蓮系」は日蓮宗、「その他」は法相宗と華嚴宗である。

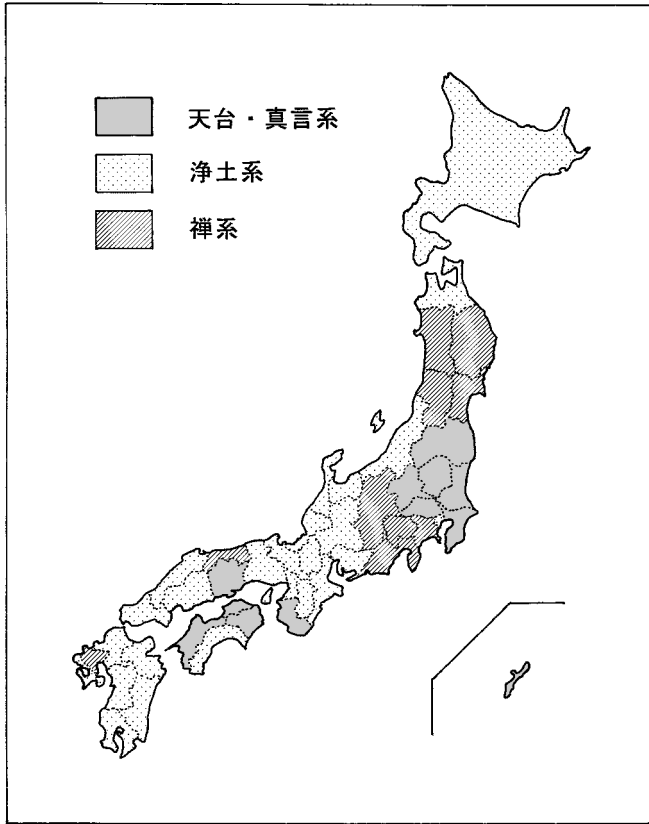


図2 寺院数による仏教地域分類図(明治21年)
資料:表4
注:東京都と神奈川県境界は当時のもの

とめた。『宗教年鑑』の系統分類とは若干異なるが(『日本帝国統計年鑑』では真言律宗・律宗は真言宗に含まれているが、『宗教年鑑』では奈良仏教系とされる), 大勢に影響はないと考えられる。

その結果は、明治21年を表4と図2, 昭和12年を表5と図3のようになる。全国合計では、多少の割合の変化はあるが、浄土系, 禅系, 天台・真言系, 日蓮系という順序は変わらない。しかし、いくつかの都県で、寺院数第1位の宗グループに変動が見られることが判明する。明治21年から昭和12年にかけては、和歌山・愛媛・沖縄の3県で第1位の宗グループが異なる。また、昭和12年と昭和34年の間では、青森・東京・香川・高知の4都県で相違が見られる。

明治21年と昭和34年で比べると、昭和34年のデータがなくて比較のできない沖縄を除き、青森・東京・和歌山・香川・愛媛・高知の6都県で相違する。先ほど作成した図1の仏教地域分類図は、四国の3県を中心として、戦前の日本には当てはまらないことが明らかになる。

なお、若干付言しておくが、北海道は、明治21年の寺院数190に比べて、昭和12年には寺院数が約6倍の1108に増加するが、第1位の宗グループ(浄土系)は同じままである。また、東京府・神奈川県は、明治26年(1893)に三多摩地方をめぐる境界変更があり、割合に変化が見られるが、両府県とも、それによる第1位宗グループの変更はない。さらに、東京府は、大正12年(1923)の関東大震災が寺院数に影響を及ぼしたことが予想されるが、統計上は寺院総数・宗別寺院数ともに、その後で目立った変化がない。

4. 宗グループ別寺院数の推移

本節では、戦前期に第1位の宗グループが変化した和歌山・愛媛の2県について、宗グループ別寺院数の推移を見ておきたい。『日本帝国統計年鑑』、『内務省統計報告』、『文部省年報』に掲載の宗別・宗派別寺院数に基づいて作成したものが、図4（和歌山県）と図5（愛媛県）である。年次は、明治21年（1888）～昭和14年（1939）である。なお沖縄県は、寺院数自体が少なく、数値の急変が著しいという統計上の問題もあるので省略する。

まず図4の和歌山県の場合、明治23年（1890）に1040あった天台・真言系の寺院数が、明治24年（1891）に756に急減

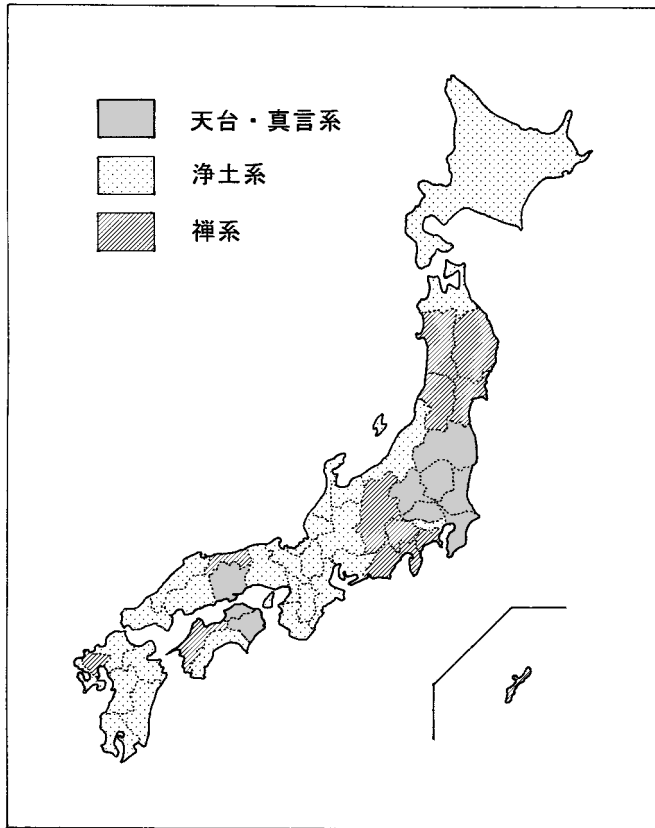


図3 寺院数による仏教地域分類図（昭和12年，大正11年）
資料：表5，表6

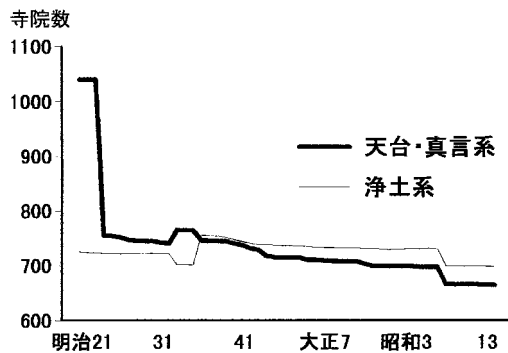


図4 宗グループ別寺院数の推移（和歌山県）
資料：『日本帝国統計年鑑』、『内務省統計報告』、『文部省年報』

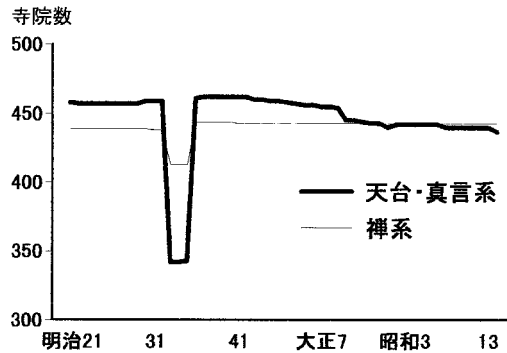


図5 宗グループ別寺院数の推移（愛媛県）
資料：図4と同じ

しているのが目をひく。これは、明治21年(1888)の高野山の大火を機に、子院の大幅な統廃合が行なわれた²³⁾ためと考えられる。高野山内の子院は、明治17年(1884)に431存在したが、統廃合の後、現在の130になったという。『内務省統計報告』でも、明治23年から翌年にかけて、真言宗寺院数が980から300近く減って696になっており、減少幅はほぼ一致する。このことによって、天台・真言系と浄土系の差が縮まり、その後も天台・真言系の減少傾向が大きく、明治36年(1903)に第1位と第2位が逆転する。なお、明治33~35年(1900~1902)と昭和8年(1933)に数値が急変しているのは、所轄官庁の集計方法に何らかの変更があったためと思われる。

次に図5の愛媛県の場合、やはり明治33~35年の急変と、大正10年(1921)の天台・真言系の落ち込みが目につく。これも集計方法の技術的問題であろうと考えられる。結果的には、天台・真言系が徐々に減少して、大正13~14年(1924~1925)に禅系と並び、昭和元年(1926)に禅系が単独第1位となる。

5. 寺院数データと檀家数データの比較 檀家数データによる仏教地域分類図作成

章で述べたように、仏教分布の指標には寺院数がよく用いられる。入手の困難な信者数の地域別・宗派別データは、これまで研究にほとんど利用されていない。

しかし、信者数が寺院数と同じように分布しているとは言いきれない。前節の和歌山県の事例で明らかになったように、寺院数に子院や塔中が含まれていることを考慮すると、すべての寺院が同じように檀家や信者を持つわけではないことが分かる。同じ寺院にカウントされても、檀家を持つ寺院と、檀家を持たずに祈祷などを中心的な宗教活動とする寺院とがある。また、1寺院あたりの檀家数・信者数規模に違いがあることも考えられる。寺院数と檀家数・信者数は必ずしも比例していない可能性がある。

そこで、本節では、寺院数とならんで、檀家数を指標として仏教分布を考察する。幸い『宗教制度調査資料』には、寺院数とともに道府県別・宗派別の檀家数データが含まれており、貴重な資料と言える。本節では、檀家数の分布状況が、寺院数の場合と同一なのかどうかについて比較検討してみたい。

資料についてもう少し触れておくと、『宗教制度調査資料』の第18輯『寺院仏堂教会ノ檀徒信徒及不動産ニ関スル統計』(大正11年(1922)調査)²⁴⁾には、「宗派別寺院檀信徒及不動産調」の表がある。本表には、道府県別・宗派別の「寺院数」、「檀徒戸数」、「信徒数」データが含まれている。表中の数値から判断して、「檀徒戸数」はいわゆる檀家の数であり、「信徒数」は檀家ではない信徒の数と考えられる。望月は、「信徒数」のデータを利用して真宗信徒の割合を図化しているが、信者数としては、流動的な「信徒数」よりも、固定的な「檀徒戸数」を用いるべきであろう²⁵⁾。

データの集計方法は3節と同じであり、天台・真言系などの4グループと「その他」、「2つ

表6 道府県別・宗グループ別寺院数(大正11年)

道府県	天台・ 真言系	%	浄土系	%	禅系	%	日蓮系	%	その他	%	2宗派以上 に所属	%	合計	%
北海道	58	6.5	570	64.2	189	21.3	71	8.0	0	0.0	0	0.0	888	100.0
青森	22	7.5	127	43.3	113	38.6	31	10.6	0	0.0	0	0.0	293	100.0
岩手	112	19.3	110	19.0	346	59.7	12	2.1	0	0.0	0	0.0	580	100.0
宮城	184	19.8	124	13.3	593	63.8	28	3.0	0	0.0	0	0.0	929	100.0
秋田	42	6.6	210	33.0	345	54.2	40	6.3	0	0.0	0	0.0	637	100.0
山形	410	26.6	334	21.6	763	49.4	37	2.4	0	0.0	0	0.0	1,544	100.0
福島	586	39.6	313	21.2	539	36.5	40	2.7	0	0.0	0	0.0	1,478	100.0
茨城	735	56.7	290	22.4	235	18.1	37	2.9	0	0.0	0	0.0	1,297	100.0
栃木	527	54.1	161	16.5	247	25.4	39	4.0	0	0.0	0	0.0	974	100.0
群馬	673	55.4	114	9.4	405	33.4	22	1.8	0	0.0	0	0.0	1,214	100.0
埼玉	1,181	55.5	206	9.7	677	31.8	63	3.0	0	0.0	0	0.0	2,127	100.0
千葉	1,604	52.4	205	6.7	417	13.6	835	27.3	0	0.0	0	0.0	3,061	100.0
東京	720	30.0	763	31.7	570	23.7	351	14.6	0	0.0	0	0.0	2,404	100.0
神奈川	395	26.4	375	25.1	533	35.6	194	13.0	0	0.0	0	0.0	1,497	100.0
新潟	617	21.1	1,402	47.9	735	25.1	170	5.8	0	0.0	0	0.0	2,924	100.0
富山	72	4.8	1,232	82.5	139	9.3	51	3.4	0	0.0	0	0.0	1,494	100.0
石川	86	7.0	915	74.8	128	10.5	94	7.7	0	0.0	0	0.0	1,223	100.0
福井	154	9.4	997	60.8	352	21.5	138	8.4	0	0.0	0	0.0	1,641	100.0
山梨	125	7.5	201	12.1	879	53.0	453	27.3	0	0.0	0	0.0	1,658	100.0
長野	338	22.9	455	30.9	643	43.6	38	2.6	0	0.0	0	0.0	1,474	100.0
岐阜	117	5.4	1,173	54.3	824	38.1	48	2.2	0	0.0	0	0.0	2,162	100.0
静岡	122	4.3	308	10.9	1,997	70.6	400	14.1	0	0.0	0	0.0	2,827	100.0
愛知	330	9.3	1,712	48.1	1,383	38.8	135	3.8	0	0.0	1	0.0	3,561	100.0
三重	446	19.9	1,142	50.9	628	28.0	28	1.2	0	0.0	0	0.0	2,244	100.0
滋賀	407	13.5	2,148	71.4	417	13.9	37	1.2	0	0.0	0	0.0	3,009	100.0
京都	424	14.1	1,322	43.9	962	31.9	293	9.7	10	0.3	0	0.0	3,011	100.0
大阪	320	11.8	1,975	72.7	240	8.8	182	6.7	0	0.0	0	0.0	2,717	100.0
兵庫	815	27.2	1,256	42.0	776	25.9	145	4.8	1	0.0	0	0.0	2,993	100.0
奈良	406	22.6	1,233	68.7	112	6.2	23	1.3	21	1.2	0	0.0	1,795	100.0
和歌山	539	37.7	642	45.0	217	15.2	30	2.1	0	0.0	0	0.0	1,428	100.0
鳥取	76	18.3	85	20.5	218	52.5	36	8.7	0	0.0	0	0.0	415	100.0
島根	130	9.8	629	47.4	494	37.3	73	5.5	0	0.0	0	0.0	1,326	100.0
岡山	683	53.4	153	12.0	266	20.8	176	13.8	0	0.0	0	0.0	1,278	100.0
広島	191	13.5	827	58.6	307	21.8	86	6.1	0	0.0	0	0.0	1,411	100.0
山口	87	6.8	803	63.0	355	27.9	29	2.3	0	0.0	0	0.0	1,274	100.0
徳島	422	71.2	104	17.5	49	8.3	18	3.0	0	0.0	0	0.0	593	100.0
香川	291	47.4	268	43.6	24	3.9	31	5.0	0	0.0	0	0.0	614	100.0
愛媛	416	38.4	194	17.9	441	40.7	32	3.0	0	0.0	0	0.0	1,083	100.0
高知	80	32.8	98	40.2	46	18.9	20	8.2	0	0.0	0	0.0	244	100.0
福岡	120	7.3	1,156	70.4	306	18.6	59	3.6	0	0.0	0	0.0	1,641	100.0
佐賀	103	10.9	358	37.7	427	45.0	61	6.4	0	0.0	0	0.0	949	100.0
長崎	47	10.7	186	42.2	167	37.9	41	9.3	0	0.0	0	0.0	441	100.0
熊本	46	5.4	633	73.8	115	13.4	64	7.5	0	0.0	0	0.0	858	100.0
大分	128	10.7	609	50.8	432	36.1	29	2.4	0	0.0	0	0.0	1,198	100.0
宮崎	24	11.8	93	45.8	73	36.0	13	6.4	0	0.0	0	0.0	203	100.0
鹿児島	3	1.8	151	88.3	14	8.2	3	1.8	0	0.0	0	0.0	171	100.0
沖縄	8	28.6	2	7.1	18	64.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	28	100.0
全国	15,422	22.4	28,364	41.2	20,156	29.3	4,836	7.0	32	0.0	1	0.0	68,811	100.0

資料：『宗教制度調査資料 第18輯』

表7 道府県別・宗グループ別檀家数(大正11年)

道府県	天台・ 真言系	%	浄土系	%	禅系	%	日蓮系	%	その他	%	2宗派以上 に所属	%	合計	%
北海道	7,275	5.0	96,533	65.7	33,677	22.9	9,371	6.4	0	0.0	0	0.0	146,856	100.0
青森	2,065	3.4	25,919	42.5	27,584	45.2	5,474	9.0	0	0.0	0	0.0	61,042	100.0
岩手	5,294	6.1	12,246	14.1	68,570	78.7	968	1.1	0	0.0	0	0.0	87,078	100.0
宮城	17,939	17.2	14,512	13.9	68,991	66.3	2,632	2.5	0	0.0	0	0.0	104,074	100.0
秋田	2,800	2.9	24,439	25.6	63,906	66.9	4,438	4.6	0	0.0	0	0.0	95,583	100.0
山形	17,361	14.8	33,245	28.3	63,939	54.5	2,744	2.3	0	0.0	0	0.0	117,289	100.0
福島	40,930	36.9	22,645	20.4	43,913	39.6	3,395	3.1	0	0.0	0	0.0	110,883	100.0
茨城	87,666	57.4	33,432	21.9	27,874	18.2	3,842	2.5	0	0.0	0	0.0	152,814	100.0
栃木	59,947	58.1	16,591	16.1	24,081	23.3	2,545	2.5	0	0.0	0	0.0	103,164	100.0
群馬	67,133	52.6	14,487	11.4	44,403	34.8	1,500	1.2	0	0.0	0	0.0	127,523	100.0
埼玉	85,674	53.5	16,208	10.1	54,375	33.9	3,985	2.5	0	0.0	0	0.0	160,242	100.0
千葉	109,739	54.1	18,888	9.3	23,815	11.7	50,456	24.9	0	0.0	0	0.0	202,898	100.0
東京	58,331	21.9	105,411	39.6	55,190	20.7	47,454	17.8	0	0.0	0	0.0	266,386	100.0
神奈川	26,903	20.9	32,074	24.9	52,602	40.9	17,069	13.3	0	0.0	0	0.0	128,648	100.0
新潟	32,689	12.9	134,949	53.1	74,058	29.2	12,320	4.9	0	0.0	0	0.0	254,016	100.0
富山	2,379	1.8	123,253	91.3	6,024	4.5	3,340	2.5	0	0.0	0	0.0	134,996	100.0
石川	3,459	2.5	124,992	91.4	3,951	2.9	4,375	3.2	0	0.0	0	0.0	136,777	100.0
福井	3,075	2.7	92,126	79.6	15,175	13.1	5,330	4.6	0	0.0	0	0.0	115,706	100.0
山梨	4,175	4.0	16,675	16.1	55,656	53.8	26,917	26.0	0	0.0	0	0.0	103,423	100.0
長野	29,312	14.6	66,664	33.1	101,541	50.4	3,860	1.9	0	0.0	0	0.0	201,377	100.0
岐阜	1,601	1.0	96,440	63.1	52,836	34.6	1,934	1.3	0	0.0	0	0.0	152,811	100.0
静岡	3,484	1.9	21,626	12.1	123,059	68.8	30,573	17.1	0	0.0	0	0.0	178,742	100.0
愛知	14,060	3.5	280,127	69.7	95,253	23.7	12,643	3.1	0	0.0	0	0.0	402,083	100.0
三重	19,179	12.7	91,624	60.8	38,422	25.5	1,442	1.0	0	0.0	0	0.0	150,667	100.0
滋賀	8,403	7.3	94,882	82.5	10,595	9.2	1,076	0.9	0	0.0	0	0.0	114,956	100.0
京都	31,152	8.0	265,043	67.9	67,327	17.2	26,877	6.9	0	0.0	0	0.0	390,399	100.0
大阪	16,158	8.5	148,971	78.6	7,112	3.8	17,315	9.1	0	0.0	0	0.0	189,556	100.0
兵庫	81,102	30.1	120,626	44.8	55,188	20.5	12,422	4.6	20	0.0	0	0.0	269,358	100.0
奈良	12,120	14.5	67,065	80.2	3,217	3.8	962	1.2	260	0.3	0	0.0	83,624	100.0
和歌山	25,916	23.8	57,794	53.0	22,753	20.9	2,511	2.3	0	0.0	0	0.0	108,974	100.0
鳥取	7,211	13.1	14,758	26.9	29,971	54.6	2,947	5.4	0	0.0	0	0.0	54,887	100.0
島根	4,371	3.8	67,648	58.2	39,360	33.9	4,892	4.2	0	0.0	0	0.0	116,271	100.0
岡山	116,294	66.9	15,640	9.0	17,942	10.3	23,949	13.8	0	0.0	0	0.0	173,825	100.0
広島	14,371	4.1	301,511	86.6	24,205	7.0	8,182	2.3	0	0.0	0	0.0	348,269	100.0
山口	3,363	2.2	116,795	77.7	27,858	18.5	2,364	1.6	0	0.0	0	0.0	150,380	100.0
徳島	242,537	81.5	42,211	14.2	10,555	3.5	2,327	0.8	0	0.0	0	0.0	297,630	100.0
香川	41,725	37.1	63,734	56.7	1,498	1.3	5,496	4.9	0	0.0	0	0.0	112,453	100.0
愛媛	45,097	31.1	35,142	24.2	60,117	41.5	4,616	3.2	0	0.0	0	0.0	144,972	100.0
高知	19,608	37.5	20,720	39.6	10,172	19.4	1,835	3.5	0	0.0	0	0.0	52,335	100.0
福岡	5,578	2.6	186,447	85.4	19,349	8.9	7,071	3.2	0	0.0	0	0.0	218,445	100.0
佐賀	5,466	5.5	54,515	55.1	33,493	33.9	5,420	5.5	0	0.0	0	0.0	98,894	100.0
長崎	6,860	5.7	65,044	54.3	30,999	25.9	16,955	14.1	0	0.0	0	0.0	119,858	100.0
熊本	2,243	1.5	118,845	78.0	24,119	15.8	7,165	4.7	0	0.0	0	0.0	152,372	100.0
大分	5,441	3.6	106,531	69.9	36,047	23.6	4,456	2.9	0	0.0	0	0.0	152,475	100.0
宮崎	2,898	6.4	27,552	60.4	13,177	28.9	1,980	4.3	0	0.0	0	0.0	45,607	100.0
鹿児島	1,200	1.5	74,000	93.8	2,847	3.6	880	1.1	0	0.0	0	0.0	78,927	100.0
沖縄	16	0.2	120	1.7	6,821	98.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6,957	100.0
全国	1,401,600	19.5	3,580,700	49.9	1,773,617	24.7	420,305	5.9	280	0.0	0	0.0	7,176,502	100.0

資料：『宗教制度調査資料 第18輯』

以上の宗派に所属」にまとめた。結果は、寺院数は表6・図3、檀家数は表7・図6のとおりである（寺院数による仏教地域分類図は、昭和12年の図と同じになる）。

寺院数と檀家数の両データを比べてみると、青森・福島・香川・佐賀の4つの県で、第1位の宗グループが異なっていることが分かる。たとえば、青森県（図7）は寺院数は浄土系が最も多いが、檀家数では禅系が多い。福島県（図8）は、寺院数は天台・真言系が最も多いが、檀家数は禅系が多い。香川県（図9）は、天台・真言系の寺院が最も多いのに対して、浄土系の檀家が多い。佐賀県（図10）は、寺院数では禅系が多いが、檀家数では浄土系が多い。

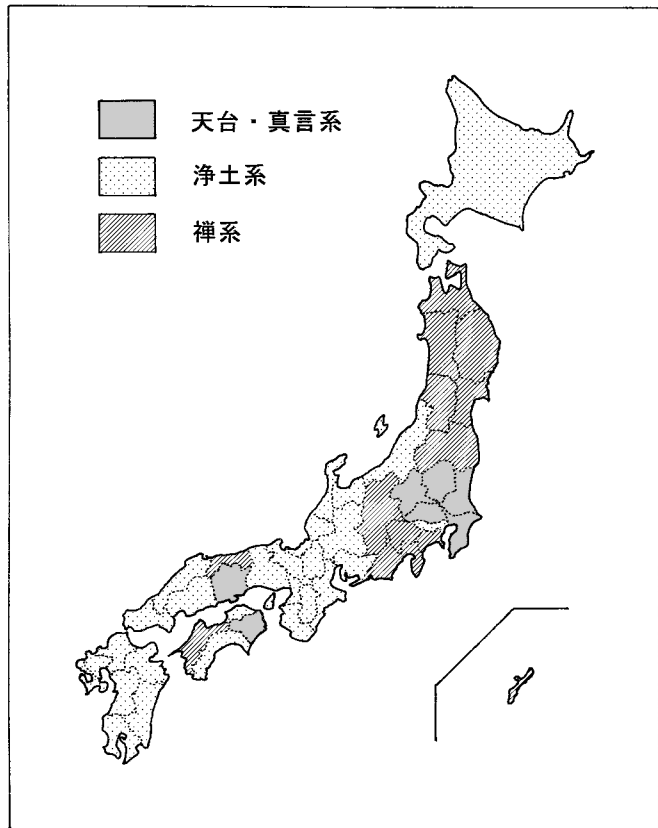


図6 檀家数による仏教地域分類図（大正11年）
資料：表7

この結果、図6のように、檀家数から検討すると、東北地方は全県禅系となり、九州地方はすべて浄土系で覆われる。四国も半分が浄土系となる。沖縄県を除き、西日本では非浄土系が4県しかなく、本稿で作成した地域分類図の中では、西日本への浄土系の浸透が最もよく表れている地図と言える。

なお、全国合計における宗別の寺院数・檀家数は表8のとおりである。1寺院あたり檀家数を見ると、100戸強がすべての宗の平均であるが、ひとり真宗だけがこの平均を大きく上回っており、真宗寺院の檀家数規模が大きいことが分かる。逆に、天台宗・禅宗・日蓮宗は規模が小さい。都道府県によって状況は変わってくるであろうが、このことが、分布の指標の違いによって分類図が異なってくることに繋がっている。

6. 仏教地域区分図の作成

以上のように、時代や指標の違いによって分類図が相違することを認めながらも、仏教諸宗派の分布を、概括的な地域区分図にまとめてみたい。その結果は図11ようになる。

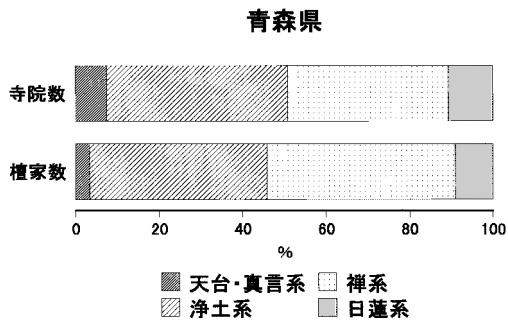


図7 寺院数と檀家数の比較 (青森県)
資料：表6，表7 (図8～10も同じ)

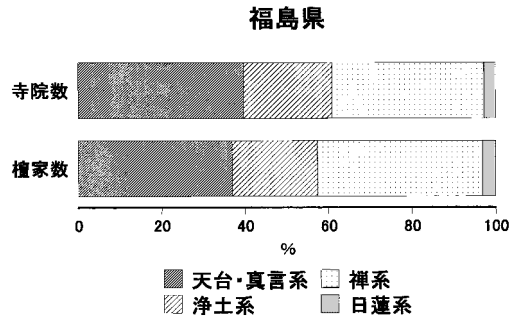


図8 寺院数と檀家数の比較 (福島県)

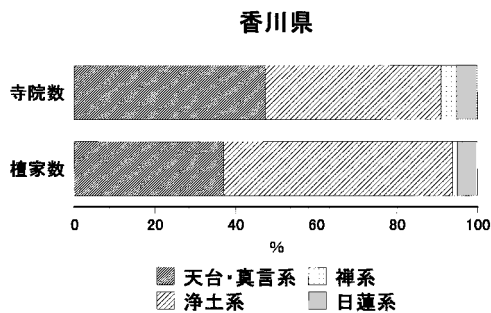


図9 寺院数と檀家数の比較 (香川県)

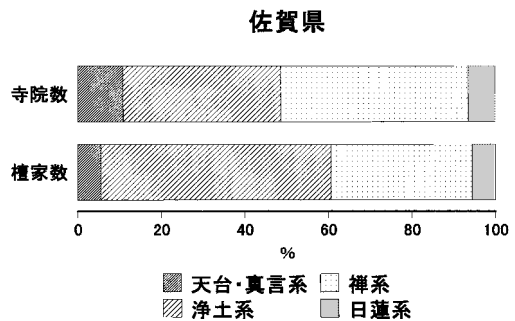


図10 寺院数と檀家数の比較 (佐賀県)

表8 宗別寺院数・檀家数 (大正11年)

宗	寺院数	檀家数	1寺院あたり檀家数
天台宗	4,075	271,430	66.6
真言宗	11,268	1,126,484	100.0
真言律宗	58	2,315	39.9
律宗	21	1,371	65.3
浄土宗	8,155	845,984	103.7
臨済宗	5,796	475,018	82.0
曹洞宗	13,883	1,287,161	92.7
黄檗宗	477	11,438	24.0
真宗	19,381	2,667,048	137.6
日蓮宗	4,836	420,305	86.9
融通念仏宗	358	29,643	82.8
時宗	470	38,025	80.9
法相宗	22	74	3.4
華嚴宗	10	206	20.6
2宗派以上に所属	1	0	0.0
合計	68,811	7,176,502	104.3

資料：『宗教制度調査資料 第18輯』

前掲の図1～図3，図6は，都道府県の分類図であった。分類図もそれなりに意味のある地図であるが，属性の異なる都道府県が混在すると，かえって日本全体としての地方差を即座に把握しにくくなるという問題がある。図11の作成にあたっては，檀家数による図6をもとにし，日本全体がなるべく少数の連接する範囲に区画されるように，1つの都道府県だけで，空間的に独立した1区画を作らないようにした（面積の広い北海道を除く）。具体的には，東京都は，隣接する埼玉県の主要宗グループである第2位の天台・真言系を，鳥取県は，隣接する島根県・兵庫県の主要宗グループである第2位の浄土系を採用した。これらの都県は，それぞれの隣県と合わせて檀家数を計算しても，その宗グループが最大の割合になる。

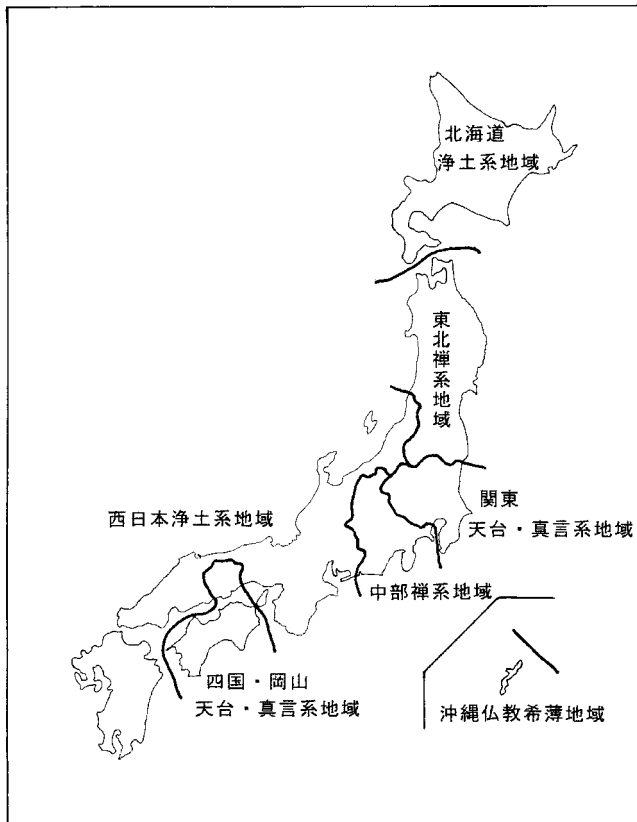


図11 日本の仏教地域区分図

3つの宗グループが拮抗して混在する四国は，4県を合計して最大であり，かつ香川・愛媛・高知3県でも第2位の天台・真言系とした²⁶⁾。これによって，岡山県も四国と同一の区画を形成することになる。なお，沖縄県は，寺院数・檀家数とも非常に少なく²⁷⁾，「仏教希薄地域」とした。この結果，日本の仏教地域は，北から，「北海道浄土系地域」，「東北禅系地域」，「関東天台・真言系地域」，「中部禅系地域」，「西日本浄土系地域」，「四国・岡山天台・真言系地域」の6地域と沖縄県の「沖縄仏教希薄地域」，以上7地域に区分することができる。

． おわりに

以上，本稿では，日本国内における仏教諸宗派の分布について，先行研究を整理したうえで，藤井ほか論文の地域分類図の修正を行ない，また，明治期・戦前期の地域分類図，檀家数による戦前の地域分類図を作成した。その結果，禅系が東北・中部地方に，浄土系が北海道と北陸・

東海・近畿・西中国・九州地方に、天台・真言系が関東地方に多いことが改めて確認された。また、諸宗派の分布状況にいくつかの時代的变化があること、指標の違いによって異なる地図が描かれることも判明した。最後に、戦前の檀家数をもとに日本の仏教地域区分図を作成し、日本の仏教地域を、沖縄県の仏教希薄地域を含む7地域に区分した。

本稿では利用しなかったが、『内務省統計報告』や『文部省年報』、『都道府県別宗教法人数』などの統計資料には、宗派別の数値も細かく掲載されている。また、『宗教制度調査資料』には市単位の数値が含まれている。明治10年代の統計書には旧国別集計もある。これらのデータを他の資料と合わせて検討することによって、教団ごとのミクロな分布状況やその時間的变化の解明も可能である。今後の課題としたい。

注

- 1) 建設省国土地理院編『日本国勢地図 新版』日本地図センター、1990。
- 2) 最近、田上が、神社や寺院の分布について、コンピュータを使用した図化・検討を行なっている。従来とは異なるデータを用いたドットマップの作成であり注目される。Tagami, Y., "Some Characteristics of Shrine Distribution in Central Japan," Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University, 37, 2002, pp.51-60。田上善夫「北陸および広域における風の祭祀分布と諸寺院分布とのかかわり」日本地理学会発表要旨集62, 2002, 190頁。また欧米では、近年でも、宗教分布に関する詳細な著作が見られる。たとえば、Henkel, R., Atlas der Kirchen und der anderen Religionsgemeinschaften in Deutschland: Eine Religionsgeographie, Kohlhammer, 2001。Gaustad E. S. and Barlow, P. L., New Historical Atlas of Religion in America, Oxford University Press, 2001。
- 3) Oda, M, "Distribution of Christianity in Japan," The Pennsylvania Geographer, 37-1, 1999, pp.17-32。小田匡保「日本におけるキリスト教の分布」日本地理学会発表要旨集56, 1999, 210-211頁。
- 4) 望月勝海「地理学的に見たる日本の宗教」地理学評論6, 1930, 64-74頁。この論文は、昭和3年(1928)7月に金沢市で行なわれた日本地理学会での講演原稿を活字化したものである。
- 5) 藤井正雄ほか「諸宗教の全国分布 統計資料による」人類科学15, 1963, 41-79頁。筆頭著者は池上廣正だが、論文中に藤井正雄の執筆と明記されているので、本稿では論文著者を「藤井正雄ほか」とする。池上廣正『宗教民俗学の研究』名著出版, 1991, 167-174頁に所収。仏教の部分は、改稿して、藤井正雄『現代人の信仰構造』評論社, 1974, 59-65頁にも所収。
- 6) 藤井正雄「宗教の分布からみた日本の東と西」国文学 解釈と鑑賞28-5, 1963, 110-120頁。改稿して、藤井正雄『現代人の信仰構造』評論社, 1974, 19-37頁に所収。
- 7) 北村嘉行「日本の仏教宗派の分布動向」(東洋大学東洋学研究所編『アジアにおける宗教と文化』(東洋学研究31) 国書刊行会, 1994) 257-282頁。
- 8) 井門富二夫「宗教地理」(木内信蔵編『文化地理学』朝倉書店, 1970) 68-103頁。井門富二夫『比較文化序説』玉川大学出版部, 1991, 111-145頁に所収。によれば、地図自体は河和田唯賢の作成とされている。
- 9) この他、Rubensteinの人文地理学の教科書は、信者数の都道府県別人口比による神道と仏教の分布図を掲載している。James M. Rubenstein, The Cultural Landscape: an introduction to human geography; 5th edition, Prentice Hall, 1996, p.209。
- 10) 『宗教制度調査資料 第6輯 寺院仏堂教会ノ統計』文部省宗教局, 1921または1922, 『宗

- 教制度調査資料 第18輯 寺院仏堂教会ノ檀徒信徒及不動産ニ関スル統計；文部省宗教局，1926。
『宗教制度調査資料』は後年、『明治百年史叢書』の一部として復刻されている。 と はそれぞれ、
『宗教制度調査資料 第2巻』（明治百年史叢書257）原書房，1977と、『宗教制度調査資料
第7巻』（明治百年史叢書262）原書房，1977に収録されている。ただし、 は復刻に際して、表8
「寺院ニ関スル調査：市町村分布ノ状況」が脱落しており、注意が必要である。
- 11) 『都道府県別宗教法人数』文部省調査局宗務課，1959。
 - 12) 文化庁編『宗教年鑑 平成3年版』ぎょうせい，1992。
 - 13) 全国寺院大鑑編纂委員会編『全国寺院大鑑 別巻索引』法蔵館，1991，645-659頁の「都道府
県別宗派数一覧」。北村は利用していないが、これに類する資料として、日本寺院名鑑刊行会編
『日本寺院名鑑 下巻』名著普及会，1982，1886-1891頁の「全国宗派別統計表」がある。
 - 14) 宗教行政は当初内務省社寺局が担当していたが、明治33年（1900）に神社局と宗教局とに区分さ
れ、大正2年（1913）には内務省宗教局を廃止して、神社以外の宗教団体は文部省宗教局が管轄す
ることになった。文部省編『学制百二十年史』ぎょうせい，1992，109頁。
 - 15) 8つの大分類は、天台宗・真言宗・浄土宗（真宗・時宗・融通念仏宗を含む）・臨済宗・曹洞宗・
黄檗宗・日蓮宗・その他である。これは、『宗教年鑑』の分類とほぼ同じである。
 - 16) 天台・真言系など複数の「宗」の集まりのことを、本稿では「宗グループ」と呼ぶことにする
（もっとも、「宗」の定義は厳密ではない）。これを「宗派グループ」と記すと、 宗××派・
宗 派などの集まりと誤解されるおそれがあるためである。
 - 17) ただし、律宗・法相宗・華嚴宗という奈良仏教系は、寺院数がきわめて少ないので除外したと注
記されている。また、注記はないが、戦前からある融通念仏宗も除かれている。
 - 18) 廃止された教部省を引き継いで、明治10年（1877）に内務省に社寺局が設置され、宗教行政を担
当した。前掲14) 109頁。
 - 19) 復刻版の大日方純夫ほか編『内務省年報・報告書』三一書房，1982～1984による。
 - 20) 復刻版の『内務省統計報告』日本図書センター，1988～1991による。『内務省統計報告』につい
て大日方は、「近代日本の宗教的分布状況を解明する上で極めて貴重な資料」であると述べている。
大日方純夫『内務省の機構・機能と『内務省統計報告』』（『内務省統計報告』解題・解説），日本
図書センター，1989，39頁。
 - 21) 復刻版の『日本帝国統計年鑑』東京リプリント出版社，1962～1972による。
 - 22) 復刻版の『文部省年報』第1～65，宣文堂，1964～1974，『文部省年報』第66～79，印刷局朝陽
会，1979による。
 - 23) 『角川日本地名大辞典30 和歌山県』角川書店，1985，430-431頁，434頁。
 - 24) 前掲10) 。
 - 25) 檀家1戸あたりの人数を考慮して、「檀徒戸数」に一定数を乗じた数値に「信徒数」を加算する
方法も考えられるが、「信徒数」には県外の信者が含まれている可能性があり、ここでは単純に
「檀徒戸数」を利用することにした。
 - 26) 徳島県の天台・真言系檀家数が飛び抜けて多いことに多少の問題はあるが、同じ計算を寺院数で
行なっても、天台・真言系が四国で最大になる。
 - 27) 平成12年（2000）末現在においても、沖縄県の仏教系宗教団体数は86，信者数は46,789人で、他
の都道府県に比べて格段に少ない。文化庁編『宗教年鑑 平成13年版』ぎょうせい，2002，36-37
頁。

Distribution of Buddhism in Japan: An Attempt to Draw a Map of the Buddhist-Denominational Regions

Masayasu ODA^{*}

Distribution of religions is one of the themes in which geographers of religion have long been interested. It is, however, unpopular among recent Japanese geographers, though we do not precisely know how religions are distributed in the country.

In this article, the author analyzes the distribution of Buddhism in Japan. After reviewing past discussions by geographers and religious scholars, he draws some maps of regional classification by denomination. The source is official statistics of the number of temples. The maps are made as for the years 1888, 1937 and 1959. As a result of comparing these maps each other, it becomes clear that the predominant denomination changed in some prefectures. The author also draws a map of the number of believers in 1922, which shows some difference from that of the number of temples. Lastly, a map of the Buddhist-denominational regions in Japan is proposed, where the country is divided into seven areas.

^{*}Department of Geography, Komazawa University, Tokyo